

平成31年度 学校自己評価システムシート (県立川越西高等学校)

目指す学校像	学力の向上、豊かな人間性の育成、健康の増進・体力の向上による高い自己形成を目指すとともに、地域との連携により信頼を確保する。
--------	--

重点目標	1 基礎・基本の定着と学習意欲の高揚により学力の向上を図る。 2 規律と品位のある学校生活を送らせる。 3 進路意識の早期確立と進路実現を目指した組織的・計画的な進路指導の推進。 4 近隣小学校・中学校・高校・大学等、諸機関・地域等との連携の拡大。
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	6名

学校自己評価							
年度目標				年度評価(1月28日現在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	授業態度は落ち着いているが、基礎学力の定着が引き続き課題となっている。学習時間は微増の状態であるが、家庭学習の習慣化・学習意欲を向上させることが必要である。	学力向上に向けた、主体的に学ぶ態度の育成。	①授業時間の確保・授業重視の徹底。小テストの実施や課題の与え方を工夫し、家庭学習を身につけさせる。 ②授業改善を図り、理解度の向上につなげる。 ③漢検・英検・PC検定などの受検者を増加させる。それにより、学習意欲の向上につなげる。	①授業理解度の向上。授業以外の学習時間。業者テスト分析結果の活用状況。 ②未来を拓く学びの取組状況。 ③各種検定の受検者・合格者数。	アンケートで学習時間が多いと回答した生徒は全体の25%程度だが、1学年スタディサプリの動画視聴率は95%を超え、学習意欲が高まりつつある。英検については教科として授業中や課外補講を地道に展開してきたことが奏功し、受験者・合格者とも増加させることができた。	B	家庭学習時間を増加させる必要があり、授業における働きかけの工夫も課題である。漢字検定や数学検定も本校にて実施できる人数を確保していきたい。
2	個々の生徒に対応したきめ細やかな指導により、基本的な生活習慣の定着が進んでいる。多方面において自主性を育む必要がある。社会の一員としての規範意識向上を図り、防犯意識、交通マナー等についても指導を充実させる。	自己管理能力、規範意識及び交通安全意識の向上。	①校門立哨指導を継続し、定期的な整容指導を実施する。またSNS利用法の指導を充実させる。 ②Q-Uのクラスごとの分析活用、SCやSSWの活用を通して教育相談の充実を図る。 ③学校行事や委員会活動、また部活動に主体的に責任を持って参加させる。 ④集会・上映・配布物を利用した交通安全やマナーの指導を徹底する。	①整容指導対象者・遅刻者数。SNSに関する指導実施状況。 ②各種リソースの利用状況。 ③委員会活動実施状況。部活動の加入率と実績。 ④交通安全指導実施状況。	生徒懲戒は1月21日現在12件と昨年より2件増加したが、全体に落ち着いた学習環境が保たれている。45%の生徒が本校生徒の服装頭髪が整っていないとの認識なので、さらに指導する必要がある。支援が必要な生徒については、保健室と担任との情報共有により、的確に支援できている。教員の生徒観察も重要な情報源となっている。不審者情報は小中学校と迅速に共有し、JR・公民館とも連携している。社会の一員としての規範意識向上に成果が見られ、善行生徒の表彰を受けることができた。	B	SNS関係のトラブルに対応する対策を早期に行いたい。生徒の各種活動について、自主性を育てる指導を継続して行っていく。交通マナーについては、苦情が皆無ではないので、引き続き指導を徹底していきたい。
3	進路に向けた早い段階からの計画的・継続的な指導が課題である。また、保護者啓発のため、進路に関する情報提供を積極的に行っていくことも急務である。	生徒一人一人の進路希望の実現に向けた指導の充実。	①教務部及び各教科と進路指導部が連携して、課外補習や受験対策指導の充実を図る。 ②1・2年生の進学模試や公務員模試・講習会、合格体験を語る会への参加数を増加させる。 ③保護者対象進路説明会の内容を充実させる。 ④教員の研修会を実施し、生徒に即したきめ細やかな指導に役立てる。	①第1志望校への合格者数。一般入試合格者数。課外授業の参加状況。 ②各種模試、講習会、合格体験を語る会への参加者数。 ③進路説明会参加の保護者数。 ④教員向け研修実施状況。	推薦・AO入試の合格率は78.3%、就職率は100%を維持。1月8日現在の進路決定率は91%となっている。英語4技能に関する研修を教員向けに行い、2学期にもベネッセによる研修を行ったが、民間試験は延期となり、改めて情報収集を始めたところである。10月の保護者向け進路説明会は1年49名・2年53名の参加であった。各種進路業者を活用して生徒向け説明会を実施。進路の意識を常に持たせるような取組を行っている。	A	国から発出された方針が変更されるなかでの対応であり、保護者への説明等に腐心した。文科省からの情報等を迅速に共有し、指導に役立てていきたい。引き続き、早期からの進路意識の向上に向けて説明会・見学会を企画する予定である。
4	地域住民・小中学校など関係機関と活発な交流が行われている。また公民館も完成し、活用が期待される。引き続き地域や家庭向けに積極的な情報発信を行い、信頼関係を確立している。HP等、広報活動の一層の充実を図りたい。	積極的な情報発信と家庭・地域との連携強化。	①HPによる広報の充実や安全情報等のメール配信を適宜行う。 ②体験授業・出前授業等で本校の教育活動を中学生に伝える。 ③近隣小学校へのスポーツや学習指導へ生徒を派遣する。 ④PTA・地域との連携による巡回指導や防犯活動を実施する。 ⑤公民館の事業に生徒を協力させる。	①HP更新・閲覧者数、安心メール配信登録者数。 ②体験授業・出前授業等の実施回数。学校説明会等への参加者数。 ③小中学校との連携状況。 ④防犯活動へのPTAの参加状況。 ⑤公民館事業への参加生徒数。	HP閲覧数はシステム更新の影響があるが約13万回となった。保護者のメール登録者数は在校生の8割を超えている。学校説明会は工事の関係で8月にウエスト川越で開催、932名の参加。2～3学期に本校で3回開催し、べ1067人の参加となり、昨年より増加している。小学校連携事業3件。中学校連携事業3件。新規に始めた霞ヶ関西公民館とのタイアップ事業では、「寺子屋教室」に生徒24名、「書道教室」「書き初め教室」に書道部生徒28名が参加。参加した小学生や保護者から高い評価をいただいている。地域へのボランティア活動については川越市から表彰を受けた。	B	HPやメール配信については、実験的に「配布物のお知らせ」などを配信した。近況報告など配信回数を増加させることが課題である。小中学校との連携は継続して参りたい。霞ヶ関西公民館とのタイアップ事業は概ね順調にスタートしたといえる。連携を深めながらさらに発展させていきたい。

学校関係者評価	
実施日	令和2年1月28日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
アンケートの結果から温かい指導をしている学校であることが見て取れる。先生方の取組から努力の跡が見える。これからも「将来を見据えていける生徒」を育て、「将来に役立つ力を身につけさせる教育」を展開してほしい。	
思春期の一番難しい時期ではあるが、大事な時期なので、良好な人間関係を築くことができるように指導してほしい。出席状況がよくなっているのは評価できる。交通マナーについては引き続き指導してもらいたい。各種行事は生徒会本部だけでなく、各委員会も協同して取り組んでみたらどうか。	
今後はIT教育を先駆けて取り入れた企業・団体が成功していく世の中の趨勢なので、時代に即応した取組もお願いしたい。アンケートで「入学してよかった」と思う生徒・保護者が多いのは素晴らしいことである。生徒にはぜひいろいろなことに挑戦させてもらいたい。	
ボランティアによる地域貢献の活動は素晴らしい。地域を巻き込んだ活動がこれからも続くとうれしい。西公民館は西高の協力を経て無事に事業をスタートさせることができた。これからさらに連携事業を拡大していく事を期待している。交通の便がよい方ではないのに一定の志願者数を確保しているのは、近隣中学校に本校の魅力が伝わっている証左であり、評価できる点である。	